

# 後期講座受講生募集

**講座内容**：日・水・土曜日に通常の講座を計9講座(全12回×8講座+全6回×1講座)を開講します。  
木曜日の夜にイブニング講座として、1講座(全6回)を開講します。  
※講座日は講師の都合等により変更している場合があります。  
※講座の詳細については次のページ以降をご覧ください。講座内容は変更になる場合があります。

**開講場所**：講座②③⑤⑥⑧⑨⑩→羽曳野市立生活文化情報センター(LICはびきの 3F視聴覚室)  
講座①④⑦→時とみどりの交流館(峰塚公園管理棟)  
※現地講義の場合は、交通費・見学料等は別途実費負担となります。

**受講資格**：どなたでもお申し込みできます(居住地・勤務地・年齢は問いません)。  
※介助(点訳・託児など)が必要な方も受講できますので、その旨をお知らせください。  
※託児については、2歳児～就学前のお子様に限らせていただきます。  
それ以外は、ご相談ください。

**受講費用**：講座①～⑧(12回講義)、6,000円  
講座⑨・⑩(6回講義)、3,000円

**定員**：講座③⑥⑧⑨⑩は60人 講座①④⑦は30人 講座②は40人 講座⑤は50人  
※定員を超えた場合は、講座ごとに抽選を行います。

**日程**：[募集締切] 9月14日(土)必着。  
[受講決定] 9月24日(火)までに受講決定の通知が届かない場合は、  
至急市民大学までご連絡ください。  
[受講手続] 9月25日(水)～10月2日(水)の間に受講料をそえて市民大学まで  
お越し下さい。一旦納付された受講料は返金できません。

**その他**：定員に達していない講座は追加募集を行います。お問い合わせください。

**単位認定**：1講座につき2単位(講座⑨・⑩については1単位)を取得できます。  
(既定の出席数とレポートを提出した場合に限ります)  
合計24単位を修得すると「はびきの市民大学学士」の学位記を授与します。

**入学式**：10月12日(土) 14時～16時 [予定] LICはびきのホールM

**申込方法**：①「インターネット」はびきの市民大学ウェブページ  
URL <http://www.city.habikino.lg.jp/lic/shimindaigaku/index.html>  
②「直接来館」官製はがきを必ず持参の上、お越しください。  
③「往復はがき」必要事項を記入して投函(下記参照)

<input type="checkbox"/> 往信  583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内 はびきの市民大学	返信用ハガキ裏面  印字 でお 願 い し ま す の で 無 記 入
---	--

<input type="checkbox"/> 返信  印字 でお 願 い し ま す の で 無 記 入	往信用ハガキ裏面  ・氏名(フリガナ) ・性別 ・年齢 ・郵便番号 ・住所 ・電話(FAX)番号 ・希望講座(複数可) 介助が必要な方はその 旨をご記入ください
--	--

詳しいお問い合わせ

はびきの市民大学(業務受託者：株式会社みのりの里)  
〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内  
TEL 072-950-5503 FAX 072-950-5650  
E-mail [shimindaigaku@minorinosato.com](mailto:shimindaigaku@minorinosato.com)

# ～募集講座一覧～

①自分史作成講座～孫への手紙を書こう～						日曜日【1限目】 10:30～12:00	
内容	自分史とは、自分自身の生涯や半生の出来事を文章化したものです。あなたが生きた証しを記し、子や孫たちへ「心の遺産」を贈ってみませんか？きっと素敵な財産になります。※定員30人。						
1	10/20	自分史概論～何をどう書くか～	7	12/15	自分史は人生の感謝状		
2	11/10	どんな資料を集めるか・どこへ行けばよいか	8	12/22	自分史出版についての考え方		
3	11/17	目次づくり～全体の組み立てを考える～	9	1/12	トラブルの注意点と実例		
4	11/24	書き方(1)主語・文体などについて	10	1/19	印刷する場合はどうするか、手順など		
5	12/1	書き方(2)かなづかい・常用漢字	11	1/26	作った本を世に出すためにはどうすればよいか		
6	12/8	書き方(3)時代背景を織り込む	12	2/2	上梓後のお祝いや送り先など		

②「知ること」の楽しみ						【四天王寺大学特別公開講座】		日曜日【2限目】 13:00～14:30	
内容	いつまでも好奇心を持っていきいきと生きていたい、これは多くの人たちが抱いている願いです。本講座では、本学の講師陣がそれぞれの興味・関心から「知ること」の楽しみについてお話しします。いろいろな話題に触れるなかで、知的な好奇心がおおいに刺激されることと思います。※第8講義は、2F美術工作創作室にて開講し実際に制作をしていただきます。※定員40人。								
1	10/20	「ランドマーク商品」とは何か-新商品がもたらす生活の変容-	7	12/15	「からだの知恵」を知る-不思議とわきあがる心の声-				
2	11/10	寒冷環境における衣服の効果-南極大陸における布の曝露を一例に-	8	12/22	アートと脳の関係-アートは脳を活性化させる?-				
3	11/17	西洋音楽と囃子-音に対する感性の違いとは?-	9	1/12	「うどん」はもどで噛む、ということ-郷土料理から知る地域-				
4	11/24	フィールドに学ぶ-地域における環境と開発をめぐる-	10	1/19	精神障がいのこと、日本のこと、スウェーデンのこと				
5	12/1	フィリピン人エンターティナーの就労を追って	11	1/26	「音楽のチカラ」を知る楽しみ-音楽の正体とは?-				
6	12/8	サブカルチャーの世界を覗く～ダンス音楽の文化～	12	2/2	被災者生活支援とボランティア活動からみえるもの				

③三国志演義の世界を読み解く～英雄たちの栄光と挫折～						日曜日【3限目】 15:00～16:30	
内容	『三国志演義』の魅力を、名場面や人物像の解説を交えて様々な角度から探ります。小説以外の芸能（演劇や語り物）に登場する英雄像も併せて紹介します。日本や西洋に流出した『演義』の姿についても、映像資料を交えつつ、最新の成果を分かり易く解説します。						
1	10/20	『三国志』ワールドへのパスポート～講座の全体像～	7	12/15	旅立つ英雄たち(1)～日本で蘇った『三国志演義』～		
2	11/10	歴史から小説へ～『三国志』と『三国志演義』の成立～	8	12/22	旅立つ英雄たち(2)～スペインに渡った『三国志』～		
3	11/17	『三国志演義』の名場面(1)呂布の活躍とその意味	9	1/12	もう一つの『三国志』～講談『三国志平話』の世界～		
4	11/24	『三国志演義』の名場面(2)劉備の役割と関羽の義	10	1/19	『三国志演義』の名場面(4)関雲長単刀にて会に赴く		
5	12/1	『三国志演義』の名場面(3)曹操は関羽の宿敵か?	11	1/26	『三国志演義』は誰のもの?～出版と受容について～		
6	12/8	舞台上で暴れる英雄たち～張飛は関羽よりも人気者?～	12	2/2	英雄たちの裏の顔?～語り物世界に生きる英雄たち～		

④環境問題の現状と課題～地球や地域にできること～						水曜日【1限目】 10:30～12:00	
内容	地球温暖化・大気汚染など環境問題はますます深刻化しています。この講座では様々な分野から専門の講師をお招きし、「今、自分の住む地球や地域に何が起きているのか?」そして「何ができるのか?」を共に考え、講義を進めていきます。※定員30人。						
1	10/23	環境問題概論	7	12/6	現地講義：絶滅危惧昆虫が語る大阪の自然環境の変化		
2	10/30	大阪管区気象台(1)出前講座「気象」	8	12/11	街と人を元気にする大阪のみどりづくり(1)		
3	11/6	大阪管区気象台(2)出前講座「地震」	9	12/20	現地講義：街と人を元気にする大阪のみどりづくり(2)		
4	11/15	現地講義：大阪管区気象台(3)	10	1/15	大阪の水辺から生物多様性を考える		
5	11/20	身近な気象と環境	11	1/22	まちづくりに取り組もう		
6	11/27	お天気キャスターからみた地球温暖化	12	1/29	地域から考える環境保全		

⑤医療との付き合い方～あなたや家族が病気になったとき～						【大阪府立大学羽曳野キャンパス提携講座】		水曜日【2限目】 13:00～14:30	
内容	あなたや家族が病気になったとき、どう対応すればいいのでしょうか?受診先の選択、セカンドオピニオンについて、医療保険のしくみ、転院時の留意点など、治療や健康維持について様々な観点から解説し、疑問にお答えします。皆様のご参加をお待ちしています。※第1～4講義は、大阪府立大学羽曳野キャンパスL-402講義室にて開講します。※定員50人。								
1	10/16	あなたや家族が手術を受けるとき	7	11/27	老年期を豊かに過ごすために-セクシュアリティの視点から-				
2	10/23	あなたや家族ががんになったとき	8	12/4	日常生活における福祉機器の利用とその工夫				
3	10/30	病気を持つ人の家族-心の健康の視点から-	9	12/11	あなたや家族が糖尿病になったとき				
4	11/6	「感染症とは何?」～正しく知ろう感染症～	10	12/18	「障がい」とその支援				
5	11/13	膝の痛みとの付き合い方-変形性膝関節症の場合-	11	1/15	あなたや家族が認知症になったとき				
6	11/20	患者と看護師、ともに歩んだ先にあるもの	12	1/22	元気をもらって若返ろう1歳からの孫育て-子どもの病気と事故予防-				

⑥音楽をめぐる“よこ”と“たて”～旋律と響き					【大阪音楽大学提携講座】	水曜日【3限目】 15:00～16:30
内容	私たちが普段親しんでいる西洋音楽は、ほとんど古典派やロマン派の音楽です。この講座では、これらの音楽を、それ以前の音楽や近・現代音楽の流れの中で再検討します。それはまた、古典派やロマン派の音楽に対する視点を広げることにもつながらでしょう。※第4講義と第11講義は、3F音楽実習室にて開講します。					
1	10/23	はじめに“起立-礼-着席”の音楽	7	12/4	音楽の矢 モーツァルト	
2	10/30	西洋音楽の始まり モノフォニーからポリフォニーへ	8	12/11	個の表現 ショパン	
3	11/6	新しい音楽：オペラ モンテヴェルディ	9	12/18	伝統と革新の新たな融合 ブラームス	
4	11/13	機能と声の成立 ラモー	10	1/15	究極の機能と声 ワグナー(生誕200年)	
5	11/20	明快な音世界の構築 ヘンデル	11	1/22	脱・機能と声 ドビュッシー、シェーンベルク	
6	11/27	円環の宇宙を物語る J.S. バッハ	12	1/29	まとめ 豊かな音楽理解に向けて	

⑦関西シャンソン事情					【学長企画講座】	土曜日【1限目】 10:30～12:00
内容	日本にシャンソンが渡来して80有余年。関西で活躍する現役シャンソン歌手を中心に講師を招き、20世紀フランスの大衆歌謡文化が、遠く離れた日本に根付いた経緯をたどる。※定員30人。					
1	10/26	日本語でシャンソンを歌うということ	7	1/11	私の好きなシャンソン歌手	
2	11/9	日本のシャンソニエ(シャンソンのライブハウス)	8	1/18	シャンソンの魅力と楽しさ	
3	11/30	日本のシャンソン歌手群像	9	1/25	ちあきなおみのシャンソン	
4	12/7	シャンソンに魅せられた男 80才の現状報告	10	2/1	シャンソンはゆらめく～言葉と音楽のマリアージュ	
5	12/14	訳詩の作り方	11	2/8	フランス映画とシャンソン	
6	12/21	フランスの多様性とシャンソンの風景	12	2/15	シャンソンは21世紀に生き残れるか?	

⑧国際コミュニケーションとその魅力					【阪南大学提携講座】	土曜日【2限目】 13:00～14:30
内容	地球村といわれるほど近く狭くなった世界で生きる人類。ボーダレスの人を尊重した未来が開けるのか? 語学、心理学、国際関係、異文化、メディアをベースに、「国際コミュニケーションとその魅力」を阪南大学国際コミュニケーション学部の専門家たちが熱く講義する。					
1	10/19	都市の顔と都市の心	7	12/14	グローバリズムと英語帝国主義	
2	10/26	印象派と後期印象派の美術	8	12/21	ハンサム・ウーマン山本八重の軌跡～国際化と日本の近代	
3	11/9	中国三国時代の国際関係	9	1/11	コトバのないコミュニケーション	
4	11/16	情報化時代における若者のコミュニケーション	10	1/18	リスク化する国際社会と宗教の社会的貢献	
5	11/30	TPP加盟とEUの経験	11	1/25	ラスト侍の見たスフィンクスそしてアラブの春	
6	12/7	ヨーロッパ社交界の華～日本人伯爵夫人MITSUKO	12	2/1	イギリス児童・ファンタジー作品の黄金時代	

⑨古典籍・和本の誘(いざな)ひ					【大阪大谷大学<文学部日本語日本文学科>連携講座】	土曜日【3限目】 15:00～16:30
内容	前半は寺院に所蔵されている様々な書籍(奈良～室町時代)について、具体的な例を挙げて紹介していきます。後半は江戸時代に作られた和本を取上げます。中でも現在の版画と同じ方法で作られた板本について丁寧に紹介し、一緒に読みます。					
1	11/16	寺院に所蔵される書籍の読み方・楽しみ方	4	1/11	和本のいろいろ-見て、さわって、持ち上げて-	
2	12/7	寺院に所蔵される書籍の役割	5	1/25	井原西鶴の浮世草子を板本で読む	
3	12/21	古写本の鑑定法-片仮名字体を手懸かりに-	6	2/8	上田秋成の読本(よみほん)を板本で読む	

⑩私設図書館、まちライブラリーを始めよう!					木曜日【イブニング】 19:20～20:50
内容	ワークショップ形式で羽曳野市に“私設図書館”「まちライブラリー」を創る講座。個人の想いでライブラリーを作りながら人々との交流、文化拠点をつくり個人の社会・地域参加のノウハウを伝えながら一緒に楽しく場づくりをする。				
1	10/24	まちライブラリーを学ぶ	4	12/19	現地講義：先進事例「なんばライブラリー」を見学
2	11/14	想定 まちライブラリーを考える	5	1/16	羽曳野まちライブラリー“植本祭”
3	11/28	“場”の仕組みを考える	6	1/23	まとめ 今後の各自の構想発表

### 短期講座 村上春樹とノーベル文学賞作家たち

【日 時】10月3日(木) 13時00分～16時15分 ※途中、15分休憩あり  
【場 所】LIC はびきの3階 視聴覚室 【参加費】1,000円(当日に支払い)  
【定 員】60名(先着順) ※電話または来室にてお申し込みください。  
【講 師】土居豊(作家・文芸ソムリエ)、対談：河内厚郎(はびきの市民大学学長)  
【講義題目】『村上春樹と日本人ノーベル文学賞作家たち』・『世界文学としての村上春樹』

### 発表直前講座

毎年ノーベル文学賞受賞の  
最有力候補として名前が上がる村上春樹。  
「今年こそ！」と願いをこめて、  
発表直前に特別講義を開講します。  
発表のカウントダウンは  
すでに始まっておりまっすっ!